

令和2年度第2回精華町教育委員会所管施設指定管理者評価委員会

議事摘録

■日時

令和2年8月25日（火）午後2時00分から午後3時00分まで

■場所

精華町役場3階 301会議室

■出席委員

- ・1号委員（委員長）：石倉 研（龍谷大学政策学部 講師）
- ・2号委員（副委員長）：吉川 博文（町社会教育委員）
- ・3号委員：清水泰律（町自治会連合会 代表）

■出席事務局職員

- ・教育委員会教育部：浦本 佳行
- ・教育委員会教育部生涯学習課長：石崎 勝巳
- ・教育委員会教育部生涯学習課長補佐：山口 健司
- ・教育委員会教育部生涯学習課長補佐：島川 宗久
- ・教育委員会教育部生涯学習課：仲村 大

■傍聴者

なし

■内容

1. 開会

（石崎生涯学習課長）

第1回評価委員会では、令和元年度事業実績、教育委員会のモニタリング評価結果を確認し、ご審議いただいた。前回の審議を踏まえ、準備した評価結果報告書案を元に、本会の所掌事務である、教育委員会に対する報告に向け、指定管理者が行う管理運営状況等の評価結果をとりまとめるため、さらに議論を深めていただきたい。

2. 議事

評価結果報告書案の内容について事務局から説明を行った。

この評価結果は、教育委員会への報告のほか、町議会その他対外的な公表資料と

しても活用する。

評価結果について、項目の1から4は、指定管理者の名称や評価の対象とした指定管理期間など、指定管理評価についての基本項目を記載した。項目の5には、審査及び評価方法として、その手順を記載するとともに、評価の視点として、指定管理による指定管理運営業務について評価を行ったことを記載した。項目の6には、審査及び評価結果として、総合的に適正な管理運営業務ができているものとし、評価した点と、あわせて今後の管理業務がさらに充実したものになるよう、検討を要する意見として記載した。

評価した点として、次の4点にまとめた。

- 施設の利便性向上のために、むくのきセンターの当日貸しやテニスコートの夏季早朝開放などを継続して実施されている。
- 生涯学習の拠点施設としての役割を十分に理解し、各種団体等と連携協働を行うことができている。
- スポーツ教室や文化講座などの自主事業に継続して取り組み、また、会員制を導入するなど新規利用者の獲得や継続的な利用につなげる工夫をされ、事業収入は過去最高額となった。
- 平成30年度から包括的に保守点検事業を委託することで、専門的、効率的に施設管理を行う一方で、職員等に対応可能な維持管理業務は職員や会員が協力して実施することで委託費の抑制を図られた。

検討を要する意見として、次の4点にまとめた。

- 指定管理者は、昨年度からホームページを開設され、広く情報発信に努められているところであるが、今後においても利便性の向上や施設利用者数増加に資する取組をさらに充実されたい。また、引き続き利用者ニーズの発掘に努められたい。
- 施設の町外料金設定が撤廃されたことを受け、町外新規利用者への働きかけを検討されたい。
- 指定管理者は、教育委員会、文化協会等と連携に努め、生涯学習拠点の役割を最大限発揮できるよう施設の活用や各種事業の更なる推進に努められたい。
- 各施設における新型コロナウイルス感染予防・感染拡大防止策を十分に講じることがもちろんのこと、コロナ禍における住民のスポーツ振興、文化の発展向上に関わる事業展開の検討を進められたい。

・石倉委員長

新型コロナウイルスに関する項目については、令和元年度で言えば3月に影響があった。令和2年度についても事業を展開していく上で現在進行形で対応すべき問題であるため、引き続き検討を要する課題として挙げている。

そのほかに報告書案について、補記すべき内容、表現を改めるべき内容、議論すべきことなどがあれば、ご発言いただきたい。

・清水委員

前回の評価委員会において議論があった、むくのきセンターの駐車場についての課題は、含まないのか。

・事務局

駐車場の問題は、施設の体制面としての教育委員会の課題であり、引き続き京都府と連携して取り組んでいく。指定管理業務としての評価としては現状での施設の運用について評価することをお願いしたい。駐車場の議論に関しては、議事録に残す。

・吉川委員

むくのきセンターは竣工後約20年となる。施設の経年劣化は避けては通れない。長期的な修繕計画については教育委員会としても指定管理者と協議して取り組んでもらいたい。修繕対応に関し、指定管理者と連携して取り組むことと付記してはどうか。

・事務局

前回は経年劣化等の修繕対応について、ご意見いただいている。

社会体育施設全体について、修繕計画を進めるには財源が大きな課題である。防災関係の補助金等の活用も検討して財源確保に努め、修繕の対応を計画的に取り組んでいきたい。

・石倉委員長

財源確保に関しては以前の議事録にも記載があり、議論されている難しい問題である。クラウドファンディングや基金の活用など、引き続き検討いただきたい。

・吉川委員

施設の利用促進について、自治会によっては体育委員という役割があつて、以前は町民体育大会の準備等を担当されるなど、地域の体育振興で活動されている。各自治会の取組において施設の利用促進をPRすることもできるのではないかと。

・事務局

現在は体育協会から地区体育委員を委嘱していないが、スポーツ振興等のなかで連携・協力して取り組めるよう体育協会と検討していきたい。

・石倉委員長

検討を要する意見として、施設老朽化に対する修繕等の財源確保を明記するかどうか。過去にも指摘されており引き続き課題であるので、指定管理者及び教育委員会の課題として付記しておくか。

・事務局

ご指摘いただいた事項を評価結果に反映し、評価した点と検討を要する意見の項目を同数となるよう内容をまとめなおす。

・石倉委員長

ホームページで広く情報発信している点を評価した点に含めることもできる。

評価した点、検討を要する意見の項目数を考慮して、財源確保について付記して

いくこととする。評価委員会における評価結果として、本日までの議論の結果をもとに、教育委員会に対し報告する。また、報告に当たっては、当方と事務局とで最終調整させていただく。

全員賛成

以上で、審議終了。

3. その他 特になし

4. 閉会

(石崎生涯学習課長)

報告書に記載する意見については、委員長と相談し、文章表現をまとめ、後日、各委員の皆さまに最終確認いただきたく、その上で、委員長から教育委員会へ報告いただく。